

【区域】 大町市、白馬村、小谷村

【設立時期】 平成31年4月3日

【代表者】 高梨 光

【マーケティング責任者】 西山健太郎

【職員数】 4名

【体制図】 裏面のとおり

【連携する主な事業者】
大町市、白馬村、小谷村
大北地区索道事業者協議会
大町市観光協会、
(一社)白馬村観光局、
(一社)小谷村観光連盟



【県の関わり】
三市村の首長、観光部、地域振興局、観光機構で構成するアドバイザーボードの一員となり、役割分担の支援を含め、DMOを舵取り役としたエリアの取組を後押しする。

【KPI(実績・目標)】

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
旅行消費額 (千円)	29,495,292	29,844,876	30,005,630	30,328,720	30,644,805
延べ宿泊者数 (千人)	2,909	2,909	2,947	2,972	2,987
来訪者満足度 (スキー場)※1	8.5(9.1)	8.2(9.0)	8.3(8.9)	8.4(8.9)	8.4(8.9)
リピーター率(%) (スキー場)	67(31)	67(34)	71(38)	70(38)	70(38)

※ 数値の()内は外国人に関するもの ※1 満足度は0~10点の11段階評価

エリアのコンセプト

世界に誇る雄大な北アルプスの自然環境、日本らしさを感じる地域文化を背景に、観光客を魅了する満足度の高い滞在環境を提供し、SDGsの観点を採り入れ、観光を軸に地域経済が豊かに循環し、そこに住む人々が誇らしく生活できる地域

コンセプトを裏付けるストーリー

<p>日本最大級のスノーリゾート</p> <ul style="list-style-type: none"> 「HAKUBAVALLEY」は多彩なゲレンデを楽しめる国内最大級のスノーエリアとして国内外に認知されている。 DMOを中心とした環境に配慮したブランド構築により、国内外の意識の高い顧客が繰り返し訪れている。 	<p>世界からファンが集う多彩な自転車コースの舞台</p> <ul style="list-style-type: none"> 山岳や山麓の地形を活かした、豊かかつ高水準のコースを擁し、多彩なイベント開催が通年での集客に貢献する。 CO₂排出量ゼロのサイクルツーリズムがエリアのブランド化にもつながる。 	<p>山岳エコツーリズムの聖地</p> <ul style="list-style-type: none"> 雄大な山岳景観、高山植物やライチョウといった希少な動植物、清流や雪渓、パウダースノーといった地域固有の自然を、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく楽しめ、本エリアならではの価値を生んでいる。
--	--	--

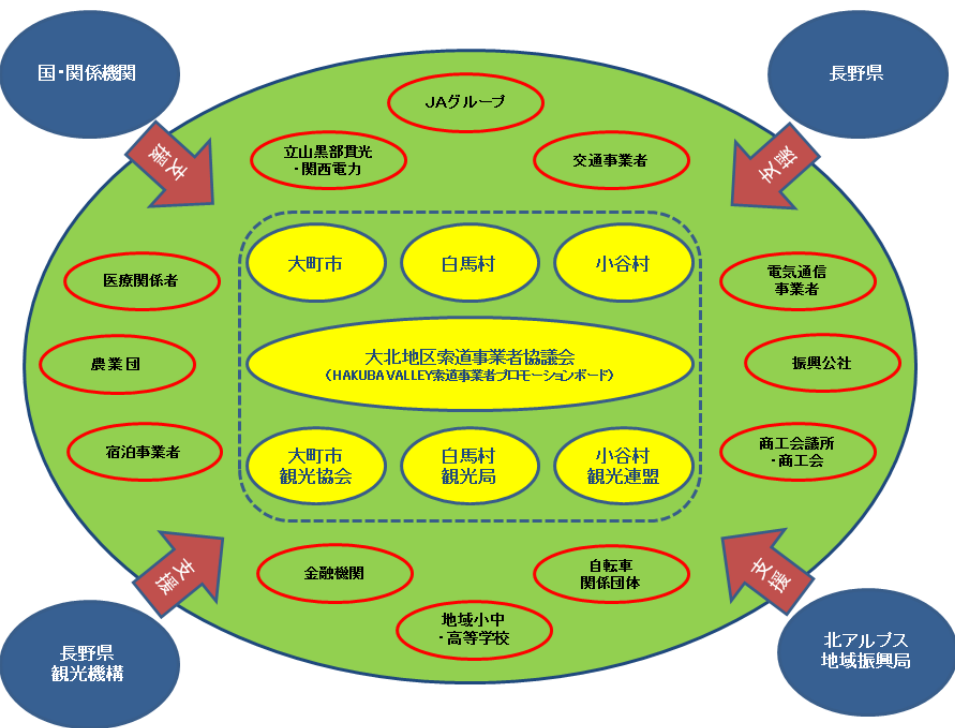
目指すべき観光地域の姿(将来像)

<p>①滞在するだけでも楽しい「まち」がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な飲食店やショップ等が集積され、それらへの移動も容易になっている。 	<p>②世界からの顧客を受け入れられる環境がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本文化を残しつつ自然景観を楽しめる「世界からの顧客」を満足させられ、長期滞在・リピート率が向上している。 	<p>③サステイナブルツーリズムを実践しているエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> バイオマス等のエネルギーの地域内循環を実践し、高い再生可能エネルギー自給率を実現している。
---	--	--

目指す姿実現に向けた取組

- サステイナブルツーリズムのブランド化
地域の森林資源を活用し、バイオマスエネルギーの地域内循環に取り組む。世界級リゾートに欠かせないサステイナブルブランドとして発信。
- ICチップによるエリア内スキー場のフリーゲート化、エピックパスの導入
良質のパウダースノーが楽しめる日本最大級のスノーエリアのリフトの共通化と、世界のトップアライアンス「エピックパス」の導入により、世界へアピール。
- エリア内周遊バスの効率化、利便性向上
スキー場間を結ぶシャトルバスを充実するとともに、複数の事業者の運行体制を整理して、利用者の利便性を向上。
- MTBコースの整備
ゲレンデを活用したMTBコースを増設し、エリア内のコースバリエーションを充実、通年型リゾートの重要コンテンツとしてブランド化。
- バックカントリーの統一化
増加するバックカントリーに対する安全対策として策定された「白馬ルール」をエリア全体の統一ルール「ハクババレールール」に拡大。
- 日本文化が感じられるまちなみ整備 (古民家の利活用)
「旅籠丸八」など、地域の魅力である古民家の価値を認識し、将来に受け継ぐためのリノベーションや活用により、滞在中の楽しみを感じられるまちづくりを推進。
- ワンストップ予約システムの構築 (宿泊、アクティビティなど)
アクティビティ、宿泊等のエリア内情報と予約を一元的なシステムで対応。
- エリア内を案内するアプリ
滞在中の期間中の情報収集ツールとして、HAKUBAVALLEYアプリを更に充実。
- 顧客データ収集システムの充実によるマネジメントの強化
スキー顧客データに加え、夏季の顧客データも収集するシステムを開発し、DMOが地域全体をマネジメントする体制を強化。

(体制図)



(エリア内地図)

